

「さわやか西中 誰からも愛され、応援される生徒を目指して」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成28年2月12日(金)発行 第 41 号

もうすぐ中学生！

新入生体験入学開催

2月10日、『平成27年度 6年生訪問』を開催し、小学校から4名の児童が本校を参観しました。

本校は小学校と廊下でつながっています。合同で行う行事も多いので、戸惑うことも少ないようには思いますが、それでも4名の児童は大変緊張した面持ちで会に参加していました。

数学、国語、理科、英語の3つの教科の授業参観を行いました。今では最下級生の1年生も、久しぶりの後輩の参加に急に大人びた様子になり、いつも以上の真剣な授業態度でした。

現1、2年生も間もなく進級。1年生は「先輩」と呼ばれる立場に、また2年生は最高学年になります。自覚を持って、今なすべきことに全力を傾け、4月に備えてほしいと思います。



ニアミスの3年生 「西山中をよろしく！」

上野先生着任

病休中の上妻先生の代わりとして上野真帆先生が8日、着任されました。

京都出身、喜多方市在住です。外語大学出身の英語の専門家です。これまでは、喜多方第二中学校で勤務されていましたが、任期の途中で西山中学校に赴任していただきました。

教職経験は本校が2校目。また、年度末ギリギリになっての赴任ですので戸惑うことも多いかと思えます。「素直で一生懸命な生徒ですね…」というのが赴任されての感想だそうですが、この調子で共に頑張っていきましょう。





立春も過ぎ、2月も半ばとなりました。この季節になると「早春賦」が頭の中で繰り返しなり出します。「春は名のみ 風の寒さや」「春と聞かねば 知らでありしを 聞けばせかる 胸の思いを…」今日12日は、まさに早春の風情を感じさせる天気でした。希望を感じさせるこの季節は、厳しい冬を知る会津の人間にとっては、心から日本人でよかったと思う季節です。

2月の生徒指導

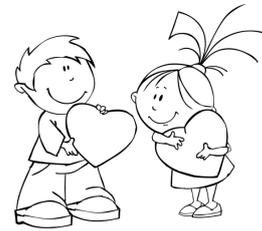
常に計画と目的意識をもって、毎日の生活を送ろう。

[指導上の留意点]

3学期も半ばをむかえ、3年生は進路に向けて一層努力を要する時期であり、1・2年生は3年生を送る会などの準備で忙しくなる。学習のまとめもさせながら、生徒が意欲的に取り組めるように指導・援助したい。

1. 生活指導

- (1) 基本的な生活習慣の育成のため、継続指導を進める。
 - ① 服装を整えさせる。
- (2) 冬季の健康管理をしっかりさせる。
 - ・ かぜの予防 ・ 十分な睡眠と休養
- (3) 事故防止に努めさせる。
 - ・ 安全な登校下校や雪による事故防止 ・ 室内での過ごし方
- (4) 学習用具以外の必要ない品物・時計・金銭等は持ってこないようにする。
- (5) 生徒が主体的に活動に取り組めるよう指導・援助する。



2. 学級指導

- (1) 学級生活を反省させ、悪い点を改善しようとする意欲を持たせる。
 - ・ 学級でのよりよい人間関係のありかた ・ 係活動、清掃の取り組みの反省
- (2) 各種行事に積極的に参加させる。

3. 教育相談・三者面談

- (1) 教師と生徒の信頼関係を確立する。
- (2) 家庭との連携を密にして、問題行動の防止に努める。
 - ・ 生活の様子の再確認 ・ いじめ、問題行動の早期発見

4. 学習指導

- (1) よりよい学習習慣の育成を図る。
- (2) 卒業や進級するための総まとめについて考えさせる。

先輩が応援に駆けつけてくれました！

12日、本校出身で東京造形大学に進学した伊藤 桃子さんが、本校の美術指導応援に駆けつけてくれました。専門はインダストリアルデザイン。将来は専門を生かして工業デザイン系の仕事に就きたいとのこと…。

本校在学中の作品も残っていましたが、美的センス抜群のものでした。本校で学んだ先輩が、自分の道を見つけ、力強く歩んでいる姿に接し、生徒にも大変よい刺激になりました。

伊藤さんの今後のますますの活躍に期待したいと思います。

